



Graduate School of Human and Environmental Studies, Kyoto University

「世界」が日常

人間と環境の関わりに関する諸問題を国際的な視点から追究している大学院人間・環境学研究科 <通称「人環」(じんかん)> では、研究および教育の両面において、国際交流が重要な基盤となっています。このニューズレターでは、そのような人環の国際交流の一部を紹介しています。

研究者の交流



第73回国際交流セミナー
(2ページ参照)

毎年本研究科から多くの研究者が学会参加や共同研究のために海外に出掛けます。また、多数の外国人研究者が本研究科を訪れ、研究、学

会参加、学生指導などで目覚ましい貢献をしています(表1参照)。

年度	2015	2016	2017	2018	2019
外国人研究員 (客員教授・准教授)	5	5	6	4	5
招聘外国人学者	3	1	8	3	6
外国人共同研究者	3	2	4	10	6

表1 外国人研究者受入れ数(渡日時年度) (人)

2019年度、海外から本研究科を訪れた主な研究者は次の通りです(名前の後の()内は国籍/所属・身分)。

外国人研究員(客員教授・准教授)

(以下先生方については2頁で詳しく紹介していますので、そちらをご覧ください)

- ・ Mario Wenning先生(中国/マカオ大学准教授)
- ・ Mohan M. Pant先生(ネパール/プルバンチャル大学教授)
- ・ Sebastian Mahlik先生(ポーランド/グダンスク大学准教授)
- ・ A. F. M. Mustafizur Rahman先生(バングラデッシュ/ダッカ大学教授)
- ・ Angela Beth Seddon先生(連合王国/ノッティンガム大学教授)

招聘外国人学者

- ・ 李倩先生(中国/浙江外国語学院副教授)
- ・ Xiao Chen先生(中国/武漢大学教授)
- ・ Li Zhao先生(中国/蘇州大学准教授)
- ・ 朴敏瑛先生(韓国/韓国外国語大学校教授)
- ・ 黎燕先生(中国/暨南大学准教授)
- ・ Gilles Forlot先生(フランス/フランス国立東洋言語文化学院大学教授)

外国人共同研究者

- ・ 趙大旺博士(中国/浙江大学助理研究員)
- ・ 劉娟先生(中国/湖南商学院講師)
- ・ 劉娟先生(中国/湖南工商大学講師)
- ・ Tayyebeh Kalat Soltani博士(イラン/Reginal Centre of Avanced Technologies and Materials, Czech Republic)
- ・ Ying Zhou先生(中国/西南石油大学教授)
- ・ Sara Kang博士(米国/ハーバード大学)

国際交流セミナー

人間・環境学研究科では、常時1名ないし2名の外国人研究員（客員教授・准教授）が研究に携わっています。研究科として先生方を歓迎し、また先生方には各自の研究成果を研究科に紹介して頂くため、先生方の講演と懇親会で構成された「国際交流セミナー」を開催しています。

第72回 2019年3月11日（2018年度外国人研究員）

演者 バオロ・エリティエ（Paolo Heritier）先生
イタリア／東ピエオンテ大学教授
演題 「心のなかで書かれたもの」リヴァイアサンの王の
身体から「ロボットの心」まで
“Written in your heart:” King’s bodies from
Leviathan to ‘robotto no kokoro’



第74回 2019年11月5日

演者 モハン・パント（Mohan M. Pant）先生
ネパール／プルバンチャル大学クアパ工科学院教授
演題 Himalayan Landscape --- Representation and
Meaning om Nepaese Context
ヒマラヤの景観ーネパールの文脈における表象と意味



第73回 2019年6月27日

演者 マリオ・ヴェニンク（Mario Wenning）先生
中国／マカオ大学准教授
演題 Human and Animal Wisdom---An Intercultural
Perspective
人間と動物の叡智ー異文化間比較の観点から



第75回 2019年11月19日

演者 セバスチャン・マーリク（Sebastian Mahlik）先生
ポーランド／グダンスク大学准教授
演題 「ポーランドのコペルニクスをまだ覚えているかい？」
Do we still remember Nicolaus Copernics
in Poland?



第76回 2020年3月3日

演者 ムスタフイズール・ラハマン
(Mustafizur Rahman) 先生
バングラデシュ/ダッカ大学教授

演題 A Journey through Bangladesh
バングラデシュの旅



外国人留学生

人間・環境学研究科では多くの外国人留学生が勉学や研究に励んでいます。ちなみに、京都大学全体では2019年5月1日現在、2,732名の留学生が在学していましたが、そのうち199名が本研究科で学んでいました（表2参照）。これは本研究科の全在学学生689名（修士課程の学生、博士後期課程の学生、研究生、特別聴講学生、特別研究学生を含む）の約29%に当たり、また、その出身地は20の国及び地域に及んでいます（表3参照）。

1991年4月の研究科創設から2019年3月までの間に、151名の留学生が博士の学位を取得しました。

表2 外国人留学生人数

(各年度5月1日現在、留学ビザの者のみ)

年度	留学生数
2015	119
2016	145
2017	146
2018	163
2019	199

表3 留学生出身国地域別人数

(2019年5月1日現在)

中国	156	韓国	10	台湾	9
米国	6	ロシア	2	シンガポール	2
イタリア	1	インド	1	インドネシア	1
英国	1	オーストラリア	1	カナダ	1
トルコ	1	ニュージーランド	1	ハンガリー	1
ブラジル	1	香港	1	モンゴル	1
ラトビア	1	ルーマニア	1		

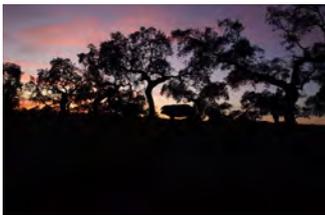
計199人

学生の海外留学

海外留学には、京都大学が海外の大学と締結している大学間交流協定に基づいて留学する派遣留学、一般留学（学位取得過程での在外研究を含む）、語学留学など、さまざまな形態が考えられます。関心のある人は早くから準備を始めて、ぜひ夢を実現させて下さい（京都大学国際教育交流課発行「海外留学の手引」を参考にしてください）。以下、2019年1月現在留学中の3人をご紹介します（説明は、氏名、所属講座、留学先の所属・身分、研究テーマ、奨学金等、留学期間）。

土谷輪さん（文化・地域環境論講座・博士後期課程3年生）

スペイン／マドリード・コンプルテンセ大学ジャーナリズム学部／
国際関係・グローバル歴史学学科客員研究員
スペイン農村部における人類学的研究
日本学術振興会特別研究員奨励費（2019年9月-2020年8月）



カシの林とイベリコ豚



子ヤギたちと



祭の日



村に残る遺跡にて

渡辺脩太さん（共生文明論講座・修士課程1年生）

ドイツ／ベルリン自由大学政治学科／修士課程学生
超越的議論の政治的含意に関する研究
ドイツ学術交流会（DAAD）留学奨学生
（2019年9月-2021年7月）



ブランデンブルク門



ベルリン国際映画祭



家で



大学のキャンパス

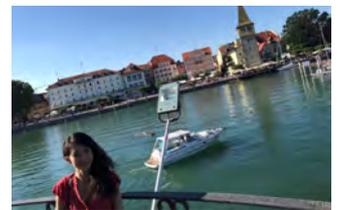
中西温子さん（現代文明論講座・修士課程1年生）

ドイツ／在ミュンヘン日本総領事館／派遣員／
外務省「在外公館派遣員制度」（2018年9月-2020年9月）

「在外公館派遣員制度」とは：海外にある日本の在外公館に原則2年間派遣され、日本の公用出張者が海外を訪問する際に様々な面でサポートする制度。同じく在外公館に派遣され、派遣先の国や地域の政治や経済等の調査・分析を行う「在外公館専門調査員」という制度もあります（この制度の応募には修士号が必要）。海外における実務経験を積むには格好の制度ですので、ぜひ応募してみてください。



ミュンヘンの夏の風物詩
『ミュンヘン日本祭』での
広報文化業務



ドイツ・オーストリア・スイスの
国境のボーデン湖に浮かぶ
小さな島リンドウにて

◇URL

<http://www.h.kyoto-u.ac.jp/jinkan/>→人間・環境学研究科案内→国際交流

◇問い合わせ先

*国際交流委員／留学生アドバイザー
Matthew de Brecht（マシュー・ディブレクト）
Email: debrecht.matthewjoseph.7u@kyoto-u.ac.jp

*京都大学大学院人間・環境学研究科 大学院掛
606-8501 京都市左京区吉田二本松町
Phone: 075-753-2952
Email: 110jinkan_jimu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

